

出生数の急激な減少に対応するため、学校教育、保育審議会を設置し、これからの教育、保育の在り方を総合的に検討していくとしている。また、DX推進事業が予算計上されており、限られた予算や人材の中、多様化、高度化する住民ニーズに応えるため、行政のDX推進は必須事項になっている。

第六次白石市総合計画での住民主体の地域づくりを目指し、「人と地域が輝く未来共創交付金」の新設や、地域づくり支援事業を通じ、各地区のまちづくり宣言の実現が見込めるものとなっている。

(仮称)白石中央スマートインターチェンジとその周辺整備事業では、国や県の支援、補助メニュー、民間のノウハウや効率性を最大限に活用し、雇用増、税収増、地域経済活性化の好循環や市民の健康増進が図られることを望む。

現在、最重要かつ喫緊の課題である、公立刈田綜合病院の経営健全化については、新年度、白石市外二町組合において、10億3千800万円の補助金、出資金

等がすぐにでも必要であることから、本来、当初予算では90%を繰り出し、残りの10%を9月補正予算に計上するところ、令和4年度当初予算においては、100%である9億円を計上し、繰り出しを行う予定としている。

仮にこの予算案が承認されなければ、本市から白石市外二町組合への繰り出しができなくなり、国のコロナ減収補てん債が入金されない限り、組合は間違いなく4月中に資金ショートを起こし、今度こそ経営破綻が現実となってしまう。

本予算案に反対することは、すなわち確実に公立刈田綜合病院を経営破綻に導くことにほかならない。

公立刈田綜合病院の問題以外にも、本市が取り組むべき課題は山積しており、限られた財源の中、持続可能な白石市であるために、課題を先送りすることなく、積極果敢にチャレンジしていかなければならない。本予算案には、その意気込みと効果が期待できるものとなっている。以上の理由から、第19号議案に賛成である。

第454回 市議会定例会予算審査特別委員会（2月28日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件 名	委員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科 善一郎	佐久間 儀郎	四 電 英夫	大 森 貴之	森 建人	角 張 一郎	菊 地 忠久	佐 藤 秀行	松 野 久郎
第19号議案 令和4年度白石市一般会計予算	原案可決		×	×	×	○	△	×	×	△	委	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した委員、「×」⇒反対した委員、「欠」⇒欠席した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない

※予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成される

第454回 市議会定例会（3月8日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件 名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			高子 秀明	佐藤 龍彦	伊藤 勝美	澁谷 政義	欠 番	沼倉 啓介	高橋 鈍斎	小川 正人	平間 知一	保科 善一郎	佐久間 儀郎	四 電 英夫	大 森 貴之	森 建人	角 張 一郎	菊 地 忠久	佐 藤 秀行	松 野 久郎
第19号議案 令和4年度白石市一般会計予算	原案可決		×	×	×	○	△	×	×	議	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない

スマートインターチェンジ設置 推進特別委員会中間報告

令和4年2月10日、(仮称)白石中央スマートインターチェンジ整備および周辺整備の進捗状況について、関係部課長から説明を受け、今後の進め方について協議を行なった。

説明後、多数の質疑応答があり、(仮称)白石中央工業団地の整備については、市の財政負担を最小限にするともに、可能な限り耕作し続けられる環境で進めていくこと、スポーツレクリエーション拠点と道の駅、道路に関する部分は市が買収し、整備していくことなど、整備内容の詳細等について把握することができた。

調査や設計、工事等が着々と進んでいるものとの共通認識を持ち、スマートインターチェンジの早期完成と周辺整備のさらなる充実を目指し、今後も地元住民、関係機関との調整を行なっていく。